

(仮称) 母島太陽光設備新設事業・(仮称) 母島無電柱化事業
村民説明会での主な質問と回答

1. 日 時：1回目 令和5年9月4日(月) 16:00~17:00
2回目 令和5年9月4日(月) 19:00~20:00

2. 参加者

説明側：東京都産業労働局・小笠原支庁、東京電力パワーグリッド株式会社、東光電気工事株式会社、株式会社関電工、小笠原村環境課

住民出席者数：1回目5名、2回目8名

3. 質問と回答

【(仮称) 母島太陽光設備新設事業】

1. 太陽光設備の施工内容について

- Q 設置する太陽光パネルの下や周りは砂利などを敷くのか。
A 太陽光パネルの下は草が生えないようコンクリートで舗装する。
- Q Bサイトの道幅は変わらないのか。道幅が狭く、車同士が出会うと後退するのが難しい。その先が御幸之浜ということもあり、少しでも道路を拡幅することはできないか。
A 拡幅は難しいが、退避所を設けることにしたのでご理解頂きたい。
- Q Bサイトと旧ヘリポートとの間の森は外来種が生えているところと思われるが、そのまま残すのか。
A その部分は工事対象外であり、そのまま残すことになる。
- Q Bサイトのイメージ図の建物のようなものは何か。また、その建物の高さはどれくらいか。
A 太陽光の電気を集める制御盤であり、そこまで高いものではない。正確な情報は後でお伝えする。
※説明会終了後、制御盤高さ2.7mを伝える。
- Q 工事期間中に御幸之浜や旧ヘリポートは利用可能か。
A 利用に影響ない形で工事を実施する。
- Q 旧ヘリポートから御幸之浜までの道路は通行止めがあると思うが、その期間はどれくらいか。
A 通行止めは考えていない。資機材の搬入の時のみ一時的な規制は行う。
- Q 中ノ平で電照栽培をしており、10月後半~7月前半に電気を使う。停電の期間が事前に分かるのであれば、村を通して事前に連絡してほしい。
A 太陽光発電所建設工事では停電の無い形で実施する。運用開始時の切り替え作業で昼間に停電が発生する可能性はある。発生する場合は事前に連絡する。

2. 太陽光パネルや蓄電池について

- Q 設計に用いたスーパー台風の風速条件を教えてください。
A 今回の設備設計は56m/sを用いた。これは瞬間最大風速で80m/sである。
- Q すべての時間帯で再エネ100%化を実施しない理由として、蓄電池が高すぎるなどの事情はあるか。
A 蓄電池の価格が理由ではなく、全体のシステムとして蓄電池の容量を決定した。まずは母島で太陽光の実証を行い、母島に限らず、他の島嶼部でもその島に合わせた再エネの組み合わせを模索して

いく。

Q 太陽光パネルと蓄電池の寿命は何年か。

A 15年*である。(※正確には太陽光パネルは17年、蓄電池は15年)

Q 太陽光パネルは15年*で発電効率はどれくらい下がるのか。

A 年間で1%ずつくらい下がるのがメーカーの保証値として一般的である。

Q 年数が経過するごとに、再エネとディーゼル発電機の割合が変わるということはあるか。

A 蓄電池は容量が少しずつ変化するため、そういうこともあり得る。

Q 蓄電池は増設するのか。

A 増設はしない。

Q 寿命を迎えた蓄電池の交換作業は大規模にやるのか。

A 電池はセルごとに劣化することが分かっているため、そこだけ交換するという形をとり、一度に全部交換はしないと考えている。

3. Cサイトの延期について

Q Cサイトが延期ということであるが、今後建設予定の都営住宅の屋上に太陽光を置くことができれば、Cサイトは必要なくなるのではないか。

A 都営住宅の説明会でも説明があったが、共用部分である廊下の照明などを賄うために小規模な太陽光パネルを設置する予定である。

Q Cサイトができるまでの間は再エネ100%とはならないと思うがどうするのか。

A 太陽光発電は天候に左右されるため、Cサイトができてでも全時間帯で再エネ100%とはならず、天候状況による不足分のバックアップとしてディーゼル発電機が必要である。ここでいう再エネ100%とは、ある時間帯において太陽光由来の電力のみで供給できている時間があるという意味であり、これはABサイトのみでも実現できると考えている。

Q 年間の半分の電力量を再エネで発電するという話であるが、Cサイト分をやらないことで、年間のバランスはどの程度影響するのか。

A CO₂の削減量という観点では、ABサイトのみの太陽光発電で現状の半分程度であり、ABCサイトの場合はさらに拡大するという試算である。

Q もともとのCサイトの割合はどれくらいか。

A 太陽光発電の設備容量でいうと、Cサイトで全体の約1/3である。

Q Cサイトはもうやらないという認識か。

A 延期であり、時期については今後検討していく。

4. 電気代について

Q 今回の事業で電気代はどうか。

A 電気料金は、供給地域共通というユニバーサル方式を採用しているため電気代は変わらない。離島供給約款で定められており、本土も離島も電気代は同じ水準である。

Q 燃料費が削減となったとしても電気代は下がらないということか。

A 太陽光発電に係るイニシャルコストは相応にかかっており、燃料費が削減されたという理由だけで

電気代は下がらない。

5. その他

Q 太陽光パネルの設置工事後の話であるが、津波の襲来等で集落へ電力供給ができない事態となった際に、太陽光パネルだけがひたすら電気を作り続けオーバーフローしてしまわないか。

A 太陽光の電気も止めることは可能で、オーバーフローすることはない。

Q Bサイトと旧ヘリポートとの間の森は木が伸びており、南十字星が見える場所が減ってしまっている。観察できるようなポイントをうまく創出して頂けると嬉しく思う。

A 最初の説明会から出ていた話であり、設備自体は南十字星が見えるように配置している。

Q 観光客が誤って工事現場に立ち入ってしまった場合や災害等のトラブルが万が一あった際に、問い合わせる先はどこか。

A 母島発電所内に本事業の担当者を置いている。ただ、工事に直接関係する場合については、現場代理人をお願いしたい。立て看板に連絡先を掲載する。

Q 作業員増により民宿に観光客が泊まれないとか、島民の食料が不足するといったリスクはないか。

A 作業員用宿舎を確保する。また、食料の増加についても事前に商店等と調整していく。

【(仮称) 母島無電柱化事業】

1. 無電柱化の範囲について

Q 集落内を無電柱化する計画はあるか。

A 緊急整備区間の工事が終わった後、評議平から元地までの都道を優先整備区間として整備予定である。集落内の村道については、水道管の更新に合わせて無電柱化を実施できないか村と調整中である。

2. 無電柱化の施工内容について

Q EVの走行充電等の検討予定はあるか。

A 国交省で横浜や都内での試験等の検討を進めていることは認識している。現時点では都として具体的な計画はなく、技術開発の世界的動向を注視している。

Q 無電柱化に伴い、道路拡幅、待機所整備はするのか。

A 現道の車道や路肩を活用して整備を進めるため、拡幅等の予定はない。

Q 無電柱化で埋めた設備は、どの程度の期間使用できるのか。

A ケーブルに関しては活用年度が決まっており、定期的に設備更新をする。特殊部など人が入れる場所は点検ができるため、点検結果から必要に応じて設備更新をする。

Q 水路も共同溝でまとめることはできるのか。

A 電線共同溝でまとめることは無い。既存の水道管などはかわしながら整備を進めていく。

Q 掘削工事区間の距離はどのくらいか。

A 作業帯は最大で130mを予定している。引き続き、都和東電で協議をしながら適切な区間割を設定していきたい。

- Q 今回の工事区間内には農道があるが、掘削工事などで通行止めになることはあるか。
- A 出来る限り影響が少ない方法を検討するが、道路を横断する箇所の掘削時などは通行止めが必要となる場合もあるため、その際は事前にご案内をしたうえで工事を進めていきたい。
- Q 無電柱化工事で停電することはあるのか。
- A 工事区間内の電力利用者については、架空引込線を地中ケーブルに繋ぎ替える際に30分から1時間程度の停電が必要となる。その際は事前に日時調整をさせていただきたい。

3. その他

- Q 無電柱化のデメリットを教えてください。
- A 架空の工事に比べて工事期間が長くなる。また、設備事故が起きた時、本復旧に時間が掛かってしまうが、応急的な工事で早期に停電復旧できるよう検討を進めている。
- Q 観光業関係者から本事業の工事業者による宿泊利用で、民宿が逼迫し、観光客の減少にならないか心配する声が上がっているが、その件についてどのように考えているか。
- A 太陽光事業では30名程度の宿舎を建設するが、無電柱化事業では島内の民宿を活用予定である。作業員としては10数名を見込んでおり、引き続き、宿舎の建設予定地を調査するなど観光業へ影響が無いよう配慮していく。

【その他ご意見】

- 新しく建設する村民会館などにソーラーパネルを置けば、Cサイトが無くてもよいのではないかと
思う。
- 工事の際は、大型車両による資機材の搬入があると思うが、交通ルールをしっかりと守って頂きたい。
- 母島でエネルギーを自立して作れる環境ができるということで有難く感じている。
- 村営施設の壁に子供達に絵を描いてもらっているが、地上機器でも同様に絵を描いてもらってもよい
と思う。
- 静沢の分譲予定地周辺も無電柱化してほしい。

以 上